

# 学級の日常と行事との関連～学芸会の取組～

湧別町立湧別小学校 教諭 西村 亮子

## 1、はじめに

今年度、北見市立美山小学校から湧別町立湧別小学校に転勤し、4年生15名の担任をしている。コロナ禍ではあるが、制限をかけながら運動会（体育参観日）も学芸会も実施することができた。今回は、日常の学級の取組を学芸会に生かしながら、つけたい力に迫る行事の取組についてまとめた。

## 2、目標の設定

まず、本校の学芸会の目標と学級目標から、学芸会を通して「つけたい力」を子ども達と話し合い、以下の3点に決めた。

「自分たちで動く力（自主性）」 「あきらめず、続ける力（努力）」

「友達の良さを見つける力（思いやり）」

この3つの力を狙いながら、学芸会を通して「なりたい自分」に近づけるよう、日々の学級の取組と関連付けながら仕掛けをしていく。



### 3、つきたい力に迫る仕掛け

#### ①「自分たちで動く力」を付けるための手立て

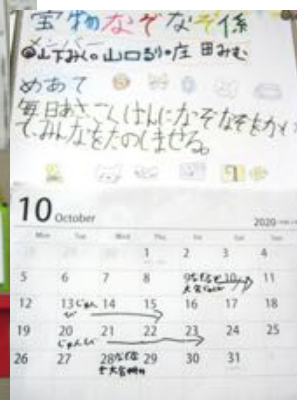
##### (1) 自主練カレンダー

今回はダンスと器楽の発表ということで、それぞれにリーダーを立て、リーダーを中心にグループごとに練習をする方法をとった。その際、自主練カレンダーを作り、発表日から逆算して練習日や内容をグループごとに考え、設定した。この自主練カレンダーは日頃、係活動で取り組んでいる予定表カレンダーを応用したものだ。予定表カレンダーには係の発表日が記されていて、それまでにどのような準備をするのかも記載している。ここでの経験が活かされ、スムーズに自主練習を行える環境ができた。毎朝、カレンダーを確認し、休み時間や朝の時間など、自分たちでCDをかけ、楽しく練習していた。



係活動コーナー全体

係の予定表カレンダー



自主練カレンダー



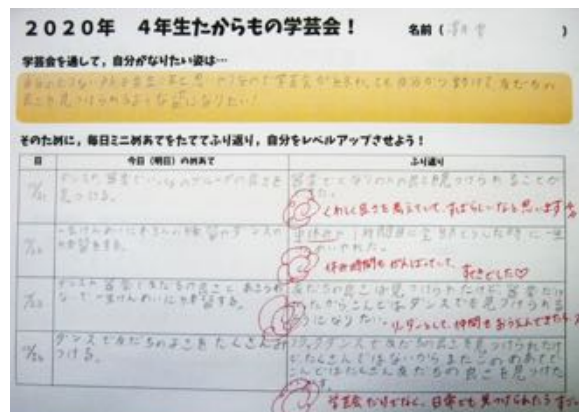
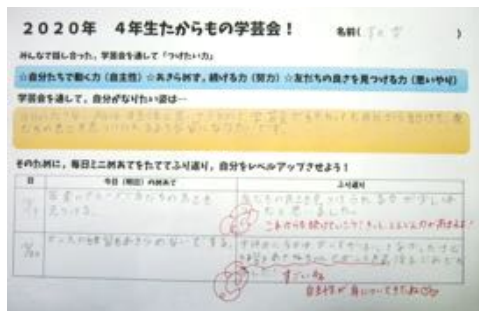
係の予定表カレンダーの取組を活かして、自主練カレンダーを作った。グループごとに自分たちで練習の内容をできるだけ具体的に決める。途中で変更しても可。(その場合は赤で修正していく)



②「あきらめず、続ける力」

学芸会振り返りシート

学芸会練習を通して、つきたい力を意識し、「なりたい自分」を描きながら日々練習に取り組めるよう、特別日課の期間中、毎日自分のめあてと振り返りを記入した。教師も毎日コメントを書き、価値づけしていく。粘り強く、「なりたい自分」を意識して取り組んでいた姿が印象的であった。



③「友達の良さを見つける力」

学芸会思い出掲示

4月から、学級経営の一環として教室後方に学級目標に即した個人のがんばりと、学級の頑張りを「知(黄色)」・「徳(ピンク)」・「体(黄緑)」で色別の画用紙や付箋に教師が書いて掲示してきた。これを学芸会に応用し、つきたい力に関して、友達の頑張りを見つけた時に、今回は子どもたち自身が「自主性(黄緑)」「努力(黄色)」「思いやり(ピンク)」の付箋に書いて、廊下に掲示していった。併せて、練習中の写真をたくさん掲示し、つきたい力に迫るとともに、思い出の掲示になるようなものとした。



学級掲示 (集団と個人の頑張り)



学芸会思い出掲示



#### 4、その他

##### 第五回 宝物会議 議題「学芸会を盛り上げよう」

子ども達が学芸会を盛り上げるために自分たちで話し合っただけ決めたものである。

旗には学芸会を終えた時に「なりたい自分」を書き、バッチには学級の合言葉である「宝物」パワーという文字を入れることも自分たちで決めた。運動会の際は担任主導だったが、学芸会ではその時の経験を生かし、学級3役を中心に子どもたち自身で決め、動き出していた姿が印象的であった。

学級旗&宝物バッチ  
(学芸会バージョン)



8月のミニ運動会の学級旗



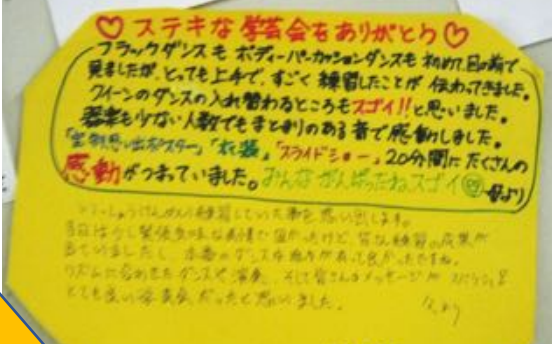
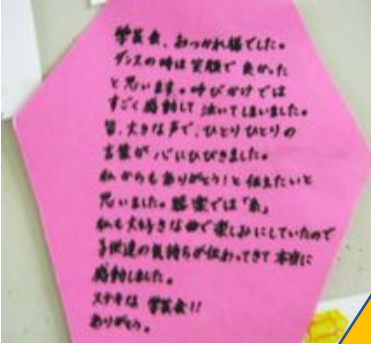
#### 5、終わりに



振り返りシート

これらの取組を通して、学芸会本番に臨んだ。本番の様子や感想から、子ども達は「なりたい自分」を意識しながら、今までの自主練に自信をもって、当日も楽しめたようであった。

行事があると種目の見栄えや成果に力を注ぎがちだが、それだけではなく、その行事への取組を通して「つけたい力」を狙って仕掛けをし、行事が終わった後も日常で生かせるようにしていきたい。



保護者からの感想カード